

団体名	横浜国立大学							
事業名	留学生と日本人学生の協働実践活動による地域国際理解教育への貢献							
実施期間	2017年5月～2018年1月							
場 所	神奈川県立横浜清陵高等学校・相模原青陵高等学校・横浜国立大学・山梨県立博物館他							
参加者数	外国人留学生	その他外国人	日本人学生	地域住民	スタッフ	大学関係者	来場者等	合計
	54	93	69	0	3	11	4	234名

<実施内容>

本事業は、横浜国立大学(横浜国大)の外国人留学生および日本人学生が神奈川県下の高校生と交流をすることで、国際理解教育の促進に貢献することを目的として実施された。特に、在留3年以内の外国籍の生徒を対象とした神奈川県の公立高校入試制度である在県外国人等特別募集枠で入学した生徒(在県外国人生徒)を支援することを主な目的とし、具体的には以下の3つの事業を実施した。

1) 在県外国人生徒に対する学習支援および交流活動: 神奈川県下の公立高校2校で学習支援と交流活動を実施した。在県外国人生徒の物理・化学の補習に留学生が通訳として参加したり、1対1での学習支援を行った。また、クラブ活動である国際交流部の活動に横浜国大の留学生および日本人生徒が参加をした。

2) 留学生を含む横浜国大学生と在県外国人生徒、日本人高校生での合同バスツアー: 留学生と日本人学生、在県外国人生徒と日本人高校生と、異なる背景を持つ参加者を対象に山梨県へのバスツアーが開催された。山梨県立博物館ではさまざまな国籍の生徒が混合班を作り、クイズの回答を探したり、自由に参観をしたりした。そのあとは屋外バーベキューとぶどう狩りを楽しんだ。バスの中でも各国の文化に関するクイズを出し合ったり、博物館での見学の報告をしたりと充実した活動内容となった。

3) 地域国際理解教育をテーマにしたセミナーの開催: NPO法人多文化共生教育ネットワークかながわ(ME-net)/たぶんかフリースクールよこはま校長の井草まさ子氏を招き、在県外国人等特別募集枠制度が作られるまでの歴史や現在の課題についてお話していただいた。また、多文化教育コーディネーターの山根俊彦氏と蔡金燕氏に活動報告をしてもらい、最後に横浜国大留学生の鉾小さんに支援活動に参加した感想を述べてもらった。セミナー後に懇親会の場を設け、登壇者を囲みながら課題や将来の展望について意見交換をした。

<記録写真>



高校での学習支援の様子



高校生・大学生合同バスツアー



セミナーでの講演の様子

<参加者からのコメント>

JKさん(台湾)

鐘佳錦 CHUNG, CHIA-CHINさん(台湾)

この活動に参加でき、本当に良かったと思います。たくさんの留学生と交流することができ、学生たちを支援しながら、自分も成長ができたと思います。おかげさまで、自分も大変貴重な経験をいただきました。ありがとうございました。

自分が役に立ったのを感じた。周りの人も優しくかった。学生たちも、同じ母語だから、話しやすく、抵抗感を感じていなかった。